

7. 工程計画

(1) 全体工期

自 平成25年5月16日

至 平成26年2月25日

現場の立地条件や天候、その他の諸条件を勘案して工事計画を練り、着工後速やかに全体工程表を作成し、監理者に提出する。

(2) 工程管理

全体工程表を軸にして、月間工程表、週間工程表を作成し工程を管理する。

- 1) 全体工程 干カルパスを重点的に管理する。
- 2) 月間工 完了した工程をチェックし、次工程に問題なく稼働していることを確認する。もし、遅れが出ていれば、その要因を特定し、具体的な対策を練って指示する。また、予定と実績を照らし付けと比較する。
- 3) 週間工程 作業を盛り込み、工種相互間の取り合いや前作業、次工程の進捗を確認する。

(3) 工程確保

- 1) 労務事情の悪化、また、長期にわたる天候が続いた場合など、現工程の維持が困難と予想される場合は、あらかじめ本部と協議してその対策を講じる。
- 2) 工程打合せ 原則として毎日13:00から行う。この工打合せは、現場と本部との間で協議する。このほか、必要に応じて現場と本部との間で協議する工程会議を開催し、各工程を確認し合い、問題点を指摘し、必要な協力をお願いする。また、問題が予想される場合は、あらかじめ本部と協議し、解決方法を明らかにしておく。

(4) 作業時間・休業日

- 1) 作業時間は原則として午前8時から午後6時までとする。
ただし、工事の特殊性や工程確保のため、近隣との協定の範囲内で作業時間を延長することもある。
- 2) 休業日は原則として日曜・祝日とする。
ただし、日曜・祝日でも騒音や振動を伴わない作業については行う場合もある。
5月連休、夏休み、年末年始の休業日は別途定める。
- 3) 全体工程表 別紙